

人は人を浴びる

～ふるさと形原を愛する形中生～



春日浦海岸で潮干狩り体験



5月17日(火)、1年生145名を対象に、春日浦海岸で潮干狩り体験をしました。約半分の生徒が、潮干狩りの経験がなく、干潟を掘るのに悪戦苦闘していました。

ゴールデンウィーク明けて、貝の量は少なく、1時間で1人平均10個程度(中には20～30個採った子もいました)の収穫でしたが、生徒のみなさんはとても楽しそうに活動していました。各自、家に持ち帰り、味噌汁や酒蒸しなど食べながら、家族の団らんを楽しんでくれるといいなと思いました。

また、アサリだけでなく、ハマグリやアオヤギ、シオフキ、カガミガイ、マテガイなども採れ、春日浦は沢山の種類の貝が生息する豊かな海岸だということがわかりました。

この授業を実施するのに、蒲郡漁協形原支所様のご協力をいただきました。また、地元の方にもアサリ採りのやり方を教えていただきました。感謝いたします。

地域食材(貝類)と出会い、美味しい地域の食文化(酒蒸しやお吸い物)を味わうことで、生徒のみなさんが、形原のことをもっと好きになってくれるとうれしいです。



生徒会あいさつ運動

5月16日(月)～31日(火)まで、生徒会主催のあいさつ運動が行われています。

「話したことがない人とかかわれるように」、「形中がもっと明るく活発になるように」、「自分の意見をもって行動できるように」というのが活動の目的です。

執行部が考えた“参加するとシールが1つもらえ、それを5個集めるとプレゼント”という作戦が功を奏し、100名近い生徒が参加し大盛況となっています。生徒会執行部は、「このあいさつ運動が、学校内だけでなく地域に広がっていくようにしたい」と思いを語ってくれました。是非実現してほしいですね。

写生会

ふるさとを
愛する心で

形原の美を感じ取る



5月19日(木)に写生会を行いました。形原の自然や景色の美しさを再発見するために、「範囲を指定せず、形原全域から自分の一番好きな風景を選び描く」という方法にして、3年目になりました。

今年はタブレットを利用することで、風景写真の撮影や印刷が簡単にできるようになりました。ICTは便利ですね。

教室をまわると、どの子も真剣に、集中して描いていて、素晴らしい

と思いました。神社や赤い電車、港や漁船、学校やロープ工場など、それぞれの個性を感じる形原らしい作品がたくさんみられました。完成作品を観るのが楽しみです。

生活記録 より

形中生人を助ける



帰り道にアオキの前を通ったら、様子のおかしいおじさんが道に倒れていました。「大丈夫ですか？」と声をかけると、かすれた声で「おこしてくれんか」と言ったので、友達と2人で起こしてあげました。よく見ると怪我をしていて血も出ていたので、軽く手当をしました。おじさんによると、30分くらい倒れたまま動けなくなっていたそうです。僕たちが気づいてあげられなかったらと思うと、とても怖かったです。とても感謝されたので、うれしかったです。これからも人助けをしていきたいと思いました。(2年 K・A)